

岐阜就労支援セミナー

主催：清流障がい者就業・生活支援センターふなぶせ

共催：NPO 法人就労継続支援 A 型事業所全国協議会

「ウィズコロナ・アフターコロナ時代において

地方の A 型事業所が生き残るあり方とは？」

日時 2023 年 5 月 27 日（土曜）14：00-16：30

会場 岐阜県障がい者総合就労支援センター大会議室（岐阜市学園町 2 丁目 33 番）

◆開会・開会挨拶 NPO 法人就労継続支援 A 型事業所全国協議会 久保寺 一男氏

令和 6 年度報酬改定に向けての検討会が厚労省で始まっている。

6 月には団体ヒアリングも予定されているが報酬の要求ではなく建設的な意見を求められているので会員にアンケートを行って全 A ネットも根拠を示していきたい。

◆講演「地方の A 型事業所が生き残る経営とは？」 rewaord 株式会社 荒川 誠一氏

事業所について、hibino-shigoto、hibino-kagayaki の 2 事業所ともにスコア 175 点

利用者に合わせた多彩な働き方、好きな仕事を選べるシフト、昇給年 4 回、賞与年 2 回
北海道の最賃 920 円に対し最低賃金 1000 円～1170 円支給している。また月給の利用者
や正社員登用も行っている。

事業所の運営について、DX 化（IT 化）で指導員の業務負担軽減と経費削減に取り組んでいる。IT 化によって職員間の情報共有がスムーズになり多くのメンバー（利用者）に個別対応ができるようになっている。Knowbe/Backlog/カオナビと様々なアプリを活用している。

事業活動について、アウトソーシング。コロナ禍の影響で売り上げが 97%ダウンした事業もあつたが、北海道と札幌市の一般入札へ参加資格を得て仕事を確保した。

民泊も開設時は 2 部屋であったが現在では 300 室になっている。他にも事業としてデータ入力作業、EC サイト運営管理、コールセンター・事務局代行、ポスティングと多種多様。

事業所の売上は右肩上がりに推移している（毎年 150%アップ）。

A 型事業所の強みはリソース（働く人が多く居ること）。障害者が出来る仕事を探すのではなく、どうすれば障害者が活躍できるか考えること。安い仕事でも断らずに受けて、その上で効率化と経費削減を追求していく。地域性を活かした（ニーズのあるもの）事業活動。福利厚生
の充実や高い時給、多彩なシフトパターンが人材確保につながっている。

◆パネルディスカッション

シンポジスト

株式会社 Noto カレッジ 辻 雅靖氏

NPO 法人マイライフ 小林季史氏

株式会社 DIPPS 清水崇志氏

rewaord 株式会社 荒川 誠一氏

コーディネーター

社会福祉法人舟伏 森 敏幸氏

できる人を就職させることの難しさ（やりにくさ）もあるのでは。本人の選択肢があることが重要なのではないだろうか。就職（一般就労）にだけ拘ることはどうなのか。

A 型は雇用であり、社会人としての選択肢の一つで重要な役割を担っている障害者にとって A 型は社会資源。

A 型事業所には雇用の責任もある。利用者には労働者性を担保しないとイケない。



◆お知らせ・閉会挨拶・閉会

報告者 白井崇晃（社会福祉法人はる）